

◆ 今週のコメント (感染地域、感染経路については推定を含みます。)

- ・ **カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症**の報告が2例(いずれも80歳代男性)(第44週追加分含む)あり、症状は菌血症等、感染地域は国内、感染経路は医療に関連した感染です。本年の累積報告数は32例となりました。
- ・ **水痘(入院例)**の報告が1例(10歳未満男性)あり、症状は発熱・発疹で、感染地域は国内、感染経路は飛沫・飛沫核感染です。本年の累積報告は2例となりました。
- ・ **インフルエンザ**は、例年おおむね12月頃から流行が始まります。現状では京都市で流行の兆しは見られませんが、流行に備えて予防を心がけましょう。予防策としては、手洗い、うがいなどの一般的な衛生行動が重要です。また、ワクチン接種も予防効果があります。接種の詳細はかかりつけの医療機関でご相談ください。

京都市衛生環境研究所ではインフルエンザの発生状況をグラフや地図で公表しています。

○インフルエンザの発生状況(衛生環境研究所ホームページ)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000102856.html>

京都市では、インフルエンザや手洗いの方法のリーフレットを発行しています。リーフレットについては下記ホームページを御覧ください。

○「手洗いの方法」リーフレットは、「こどもに多い感染症について」のページ内にリンクがあります(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000197526.html>

○こどもの感染症リーフレット「インフルエンザ」(衛生環境研究所)

<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/cmsfiles/contents/0000197/197526/influenza.pdf>

◆ 今週のトピックス: <インフルエンザ>

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は0.19(13例)で、まだ少ないものの過去5年平均値を上回る状況が続いています。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- ・ 二類:結核 4例(肺結核 2例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 2例
【1月以降の累積報告数 303例(肺結核 158例, その他結核 51例, 潜在性結核感染者 94例)うち喀痰塗抹陽性 80例】
- ・ 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症 2例【1月以降の累積報告数 32例】
- ・ 五類:水痘(入院例) 1例【1月以降の累積報告数 2例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.19	13
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	4.44	191
	② 手足口病	1.07	46
	③ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.98	42
	④ RSウイルス感染症	0.79	34
	⑤ ヘルパンギーナ	0.63	27
眼科	流行性角結膜炎	0.30	3

【次ページ以降の主な内容】

発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス: <インフルエンザ>

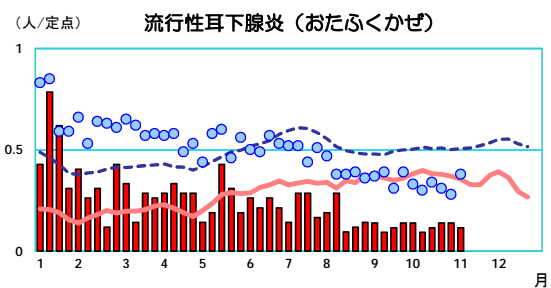
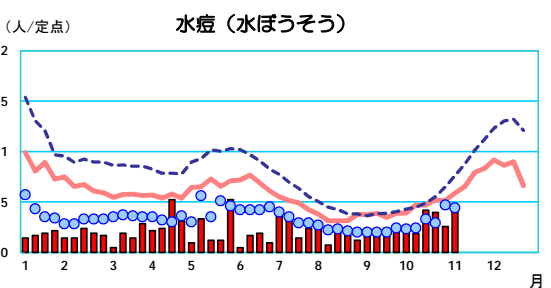
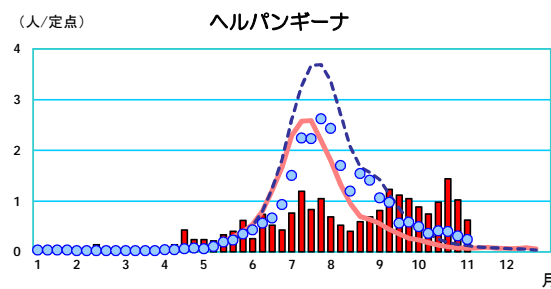
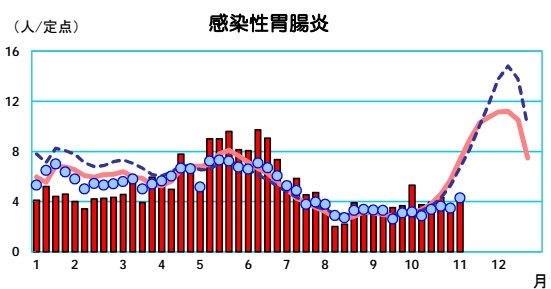
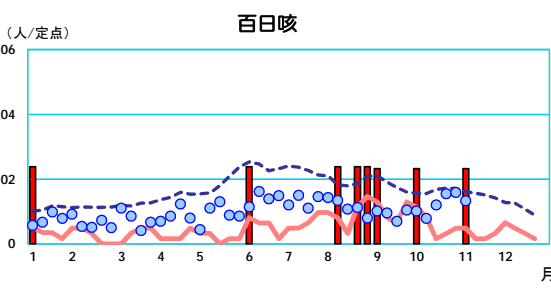
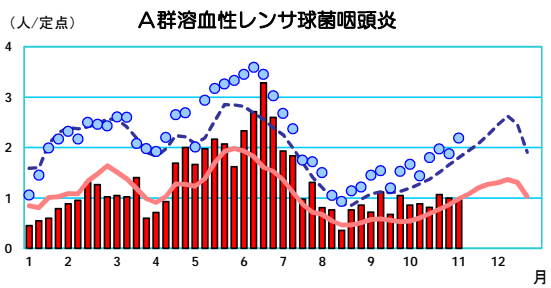
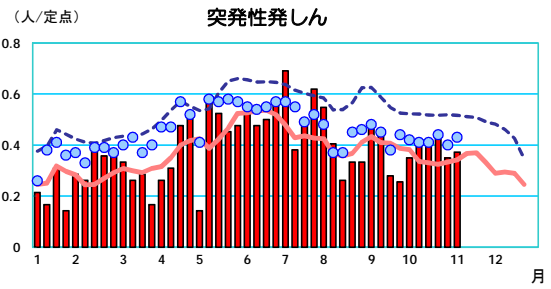
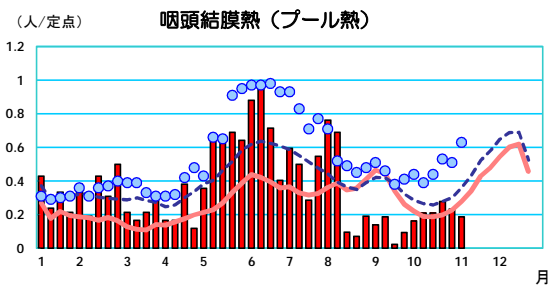
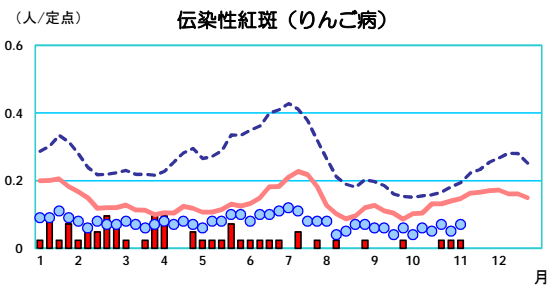
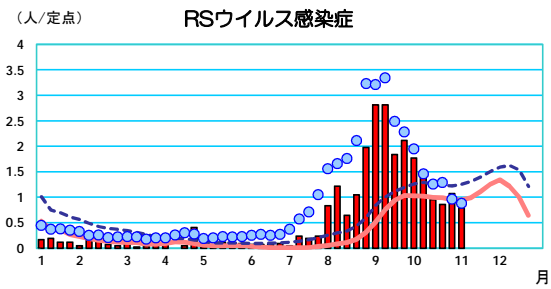
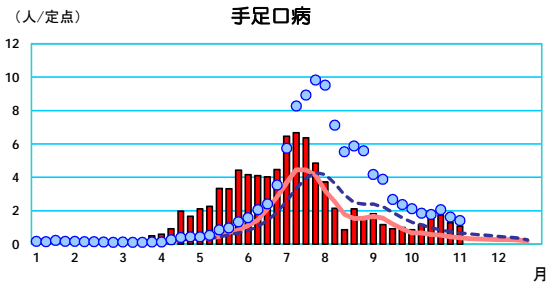
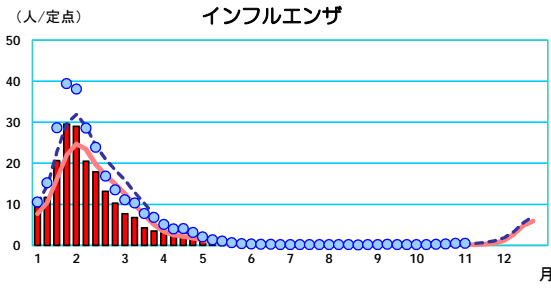
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注)京都市のデータは、平成29年11月15日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。

また、本情報での患者数は、届出医療機関所在地での集計で、患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（平成29年）



第45週(11月6日～11月12日)トピックス: <インフルエンザ>

京都市の発生動向

京都市のインフルエンザの定点当たり報告数は0.19(13例)で、まだ少ないものの過去5年平均値を上回る状況が続いています。全国では0.52となり少しずつ増えています(図1)。都道府県別の定点あたり報告数を見ると、近畿圏では流行開始の目安「1」を超えたところはありませんが、沖縄県をはじめ8県で流行シーズン入りしています(図2)。京都市では例年、流行開始の目安「1」を超えた後、急激に報告数が増え、3～8週後にはピークを迎え、その定点あたり報告数は、警報レベル「30」を超えることが多くなっています(表1)。本市及び全国共にまもなく流行シーズンに入ると思われますので、下記の予防を徹底してください。

症状及び予防

インフルエンザは、インフルエンザウイルスを病原体とする急性の呼吸器感染症で、毎年世界中で流行がみられます。典型的な発症例では1～4日間の潜伏期間を経て、突然、発熱(38℃以上の高熱)・頭痛・全身倦怠感・筋肉痛・関節痛等が出現し、併せて鼻水・咳等の呼吸器症状もみられます。

予防は手洗いとうがいの基本です。インフルエンザの予防接種も一定の予防効果が得られます。今シーズンの予防接種は医療機関ですでに始まっています(有料)。予防効果が現れるまでに接種から約2週間かかりますので、早めに接種しましょう。詳しくは各医療機関にお問い合わせください。

京都市では子どもの感染症に関する情報を毎月1日に発行しています。11月はインフルエンザ予防を紹介しています。下記URLを御参照ください。

「京都市こどもの感染症」

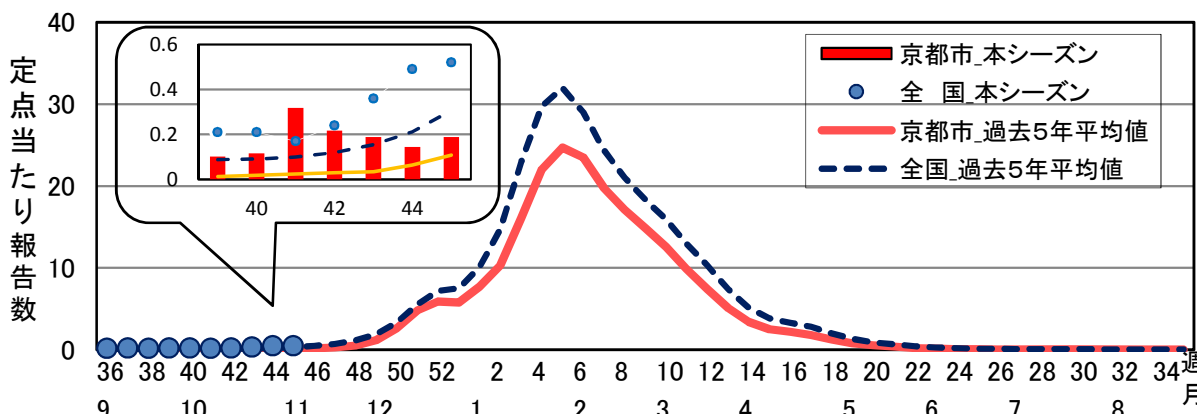
○ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000146238.html>

また、高齢者のインフルエンザ予防接種については一部助成があります。京都市情報館に掲載しています。下記URLを御参照ください。

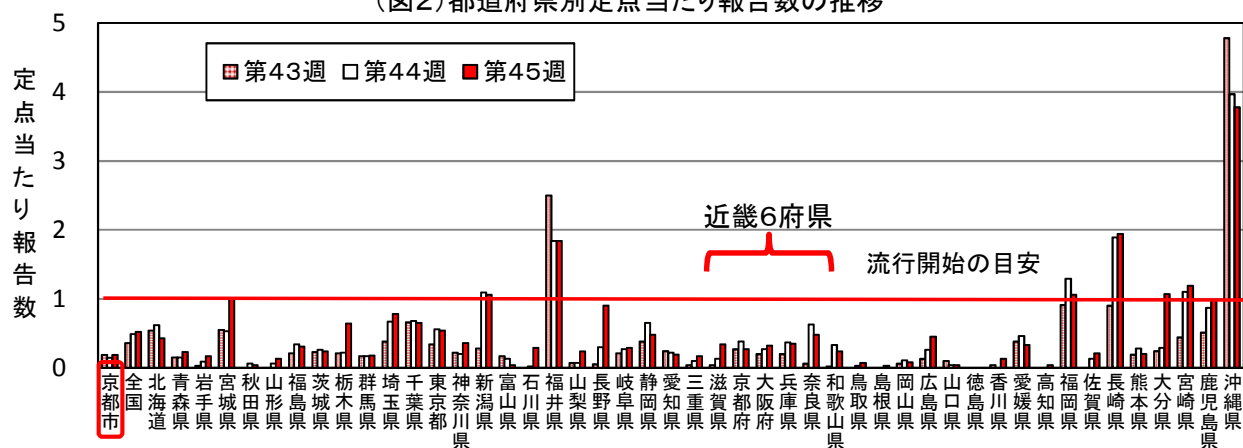
「高齢者インフルエンザ予防接種のお知らせ」

○ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000109807.html>

(図1)京都市及び全国の定点当たり報告数の推移



(図2)都道府県別定点当たり報告数の推移



(表1)京都市における過去5シーズンの定点あたり報告数1.00超の週からピーク週までの期間

シーズン	H24/H25	H25/H26	H26/H27	H27/H28	H28/H29
1.00超の週	第1週	第52週	第49週	第2週	第48週
ピークの週	第5週	第5週	第52週	第7週	第4週
ピーク時定点あたり報告数	31.22	37.19	28.63	32.82	29.59
1.00超～ピークの期間	4週間	5週間	3週間	5週間	8週間

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第45週

疾病,行政区別報告数

平成29年11月6日～平成29年11月12日

データ入手日:平成29年11月15日

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	1	4	-	-	3	-	2	-	1	-	-	-	-	2						
上京	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	1	3	-	3	69	-	10	-	2	1	-	3	-	-						
中京	-	4	1	4	6	1	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	1	3	-	-	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	6	2	1	1	2	-	-	5	-	7	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	1	-	-	1	10	-	4	-	2	-	2	-	-	-						
右京	3	5	3	9	21	4	12	1	3	-	5	-	-	1						
伏見	1	6	1	11	43	11	11	-	2	-	10	-	-	-						
西京	5	3	1	10	23	-	5	-	1	-	-	2	-	-						
京都市計	13	34	8	42	191	18	46	1	16	1	27	5	-	3	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ (※1)	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌 咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※2)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎(※3)	感染性胃腸炎(※4)	
男女合計																				
北	0.14	1.00	-	-	0.75	-	0.50	-	0.25	-	-	-	-	2.00						
上京	-	-	-	1.00	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
左京	0.14	0.75	-	0.75	17.25	-	2.50	-	0.50	0.25	-	0.75	-	-						
中京	-	1.33	0.33	1.33	2.00	0.33	0.67	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	0.33	1.50	-	-	6.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
山科	-	1.20	0.40	0.20	0.20	0.40	-	-	1.00	-	1.40	-	-	-						
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	0.20	-	-	0.33	3.33	-	1.33	-	0.67	-	0.67	-	-	-						
右京	0.38	1.00	0.60	1.80	4.20	0.80	2.40	0.20	0.60	-	1.00	-	-	1.00						
伏見	0.09	0.86	0.14	1.57	6.14	1.57	1.57	-	0.29	-	1.43	-	-	-						
西京	0.63	0.60	0.20	2.00	4.60	-	1.00	-	0.20	-	-	0.40	-	-						
京都市計	0.19	0.79	0.19	0.98	4.44	0.42	1.07	0.02	0.37	0.02	0.63	0.12	-	0.30	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第45週

年齢階級, 疾病別報告数

平成29年11月6日～平成29年11月12日

データ入手日:平成29年11月15日

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳以上 20歳以上	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	13	-	-	-	-	1	1	-	2	-	1	1	3	1	1	1	1	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	34	10	9	8	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		8	-	-	1	-	4	1	1	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		42	-	-	3	2	5	4	3	7	4	2	4	5	-	3	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		191	1	21	31	26	19	15	7	6	11	7	9	12	5	21	-	-	-	-	-	
水痘		18	-	-	3	3	2	1	1	5	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		46	1	3	17	13	7	1	1	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		16	-	10	5	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		27	-	6	5	10	3	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		5	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎			3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1 年齢2	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳- 20歳-	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳- 70歳以上	80歳以上
男女合計	年齢3 年齢4	総数 総数	～5ヶ月 ～5ヶ月	～11ヶ月 ～11ヶ月	1歳 1歳	2歳 2歳	3歳 3歳	4歳 4歳	5歳 5歳	6歳 6歳	7歳 7歳	8歳 8歳	9歳 9歳	10歳- 10歳-	15歳- 15歳-	20歳以上 20歳以上	30歳- 30歳-	40歳- 40歳-	50歳- 50歳-	60歳- 60歳-	70歳以上 70歳以上	80歳以上
インフルエンザ(※1)	年齢1	0.19	-	-	-	-	0.01	0.01	-	0.03	-	0.01	0.01	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.79	0.23	0.21	0.19	0.14	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
咽頭結膜熱		0.19	-	-	0.02	-	0.09	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.98	-	-	0.07	0.05	0.12	0.09	0.07	0.16	0.09	0.05	0.09	0.12	-	0.07	-	-	-	-	-	
感染性胃腸炎		4.44	0.02	0.49	0.72	0.60	0.44	0.35	0.16	0.14	0.26	0.16	0.21	0.28	0.12	0.49	-	-	-	-	-	
水痘		0.42	-	-	0.07	0.07	0.05	0.02	0.02	0.12	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	
手足口病		1.07	0.02	0.07	0.40	0.30	0.16	0.02	0.02	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
突発性発しん		0.37	-	0.23	0.12	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
百日咳		0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
ヘルパンギーナ		0.63	-	0.14	0.12	0.23	0.07	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性耳下腺炎		0.12	-	-	-	-	-	-	0.02	0.02	-	-	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	
急性出血性結膜炎		年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
流行性角結膜炎			0.30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	0.20	-	-	
細菌性髄膜炎(※2)		年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
マイコプラズマ肺炎	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
クラミジア肺炎(※3)	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
感染性胃腸炎(※4)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成29年第45週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成29年11月15日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)		8	22	15	13	10	13
RSウイルス感染症		76	62	41	37	46	34
咽頭結膜熱		7	9	9	12	10	8
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		37	38	35	46	43	42
感染性胃腸炎		228	161	170	187	140	191
水痘		9	8	18	17	11	18
手足口病		37	50	84	75	55	46
伝染性紅斑		-	-	-	1	1	1
突発性発しん		15	17	18	19	15	16
百日咳		1	-	-	-	-	1
ヘルパンギーナ		38	32	42	62	44	27
流行性耳下腺炎		6	4	5	6	6	5
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		4	2	1	4	1	3
細菌性髄膜炎 ※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)		-	-	-	-	-	-
合計		466	405	438	479	382	405

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ ※1)		0.12	0.32	0.22	0.19	0.14	0.19
RSウイルス感染症		1.77	1.44	0.95	0.86	1.07	0.79
咽頭結膜熱		0.16	0.21	0.21	0.28	0.23	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.86	0.88	0.81	1.07	1.00	0.98
感染性胃腸炎		5.30	3.74	3.95	4.35	3.26	4.44
水痘		0.21	0.19	0.42	0.40	0.26	0.42
手足口病		0.86	1.16	1.95	1.74	1.28	1.07
伝染性紅斑		-	-	-	0.02	0.02	0.02
突発性発しん		0.35	0.40	0.42	0.44	0.35	0.37
百日咳		0.02	-	-	-	-	0.02
ヘルパンギーナ		0.88	0.74	0.98	1.44	1.02	0.63
流行性耳下腺炎		0.14	0.09	0.12	0.14	0.14	0.12
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.40	0.20	0.10	0.40	0.10	0.30
細菌性髄膜炎 ※2)		-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 ※3)		-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 ※4)		-	-	-	-	-	-
合計		11.07	9.38	10.13	11.33	8.87	9.53

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。